先行プレスリリース

水滸伝

Suikoden

THE STORY OF WATER MARGIN

歌川国芳
《通俗水滸傳豪傑百八人之一個
九紋龍史進　跳澗虎陳達》
文政十（一八二七）年頃　個人蔵

2026

9/19 SAT → 11/8 SUN

休 館 日　月曜日（9/21、10/12、11/2 は開館）、10/13㈫

開館時間　10:00～18:00（金曜日～20:00）＊入館は閉館の 30 分前まで

主　　催　東京ステーションギャラリー（公益財団法人東日本鉄道文化財団）

東京ステーションギャラリー
TOKYO STATION GALLERY

東京都千代田区丸の内 1-9-1［JR 東京駅 丸の内北口 改札前］
Tel. 03-3212-2485　https://www.ejrcf.or.jp/gallery/

《江山楼観図》燕文貴　北宋時代（10～11 世紀）大阪市立美術館蔵

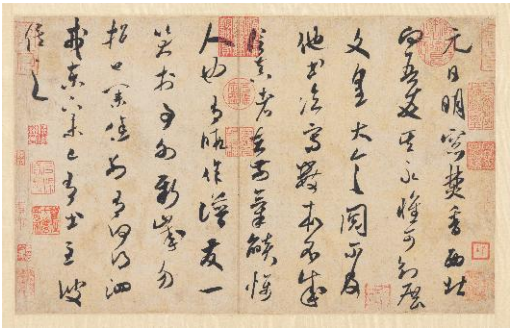
水滸伝—

梁山泊に集う豪傑一〇八人が起こす革命の物語

中国四大奇書の一つとされる『水滸伝』は、明時代に成立した武侠小説です。北宋時代末期、国政への不満を抱いた豪傑一〇八人が梁山泊という要塞に集まり革命を起こすという内容で、一六世紀から一七世紀にかけて成立した『水滸伝』は江戸時代に日本に伝わり、爆発的な人気を得ました。曲亭馬琴は葛飾北斎の挿絵で『新編水滸伝』を出版、さらにその日本版ともいえる『南総里見八犬伝』を著し、その後多くの翻案作品も生まれました。また、歌川国芳が描いた豪傑たちの錦絵は、彼の出世作としてよく知られています。これまでにも『水滸伝』に関わる展覧会は開かれてきましたが、その多くは版本や国芳の浮世絵に焦点をあてた内容でした。本展は『水滸伝』を通じて、北宋～清の多彩な中国美術、および江戸～現代にいたるまでの日本美術を多角的に展観し、『水滸伝』の奥深い魅力に迫ります。

Suikoden

『水滸伝』は現代日本において小説、映画、ドラマ、漫画、ゲーム等の各メディアに取り上げられ、高い人気を誇るコンテンツです。本展は、広い世代に中国と日本の美術に親しんでいただきつつ、その受容史から各時代の世相や思想、理想に触れる機会となります。私たちが生きる現代にも目を向け、『水滸伝』の新たな展開を紹介します。



重要文化財《草書帖》米芾　北宋時代（紹聖 4 年～元符 2 年／1097～1099 年）大阪市立美術館蔵

掲載作品は都合により出品されない場合があります

本展は大阪市立美術館（2026/7/11～9/6）開催後当館に巡回します

広報に関するお問い合わせ：
東京ステーションギャラリー学芸室
Tel. 03-3212-2763

重要文化財《清明上河図（部分）》趙浙　万暦 5（1577）年 林原美術館蔵